

奥州湖へいらっしゃい

（No.138　令和7年8月）

胆沢ダムフェス2025 in 夏 を開催しました

　胆沢ダムでは8月2日、3日に「胆沢ダム堤体内部＆胆沢第三発電所公開」を開催し、県内外から80名が参加。親子3代での参加や外国の方の参加もありました。普段は見ることの出来ない堤体内部や胆沢第三発電所を興味深そうに見学していました。また、ダム直下の奥州いさわカヌー競技場ではカヌージャパンカップ2025も開催され、白熱した競技が行われました。
　馬留広場会場では8月9日におとなの遊び方主催による「SUP体験等」、10日には奥州カヌー愛好会主催による「胆沢カヌー体験会」が開催され、多くの来訪者で賑わいました。
　期間中の胆沢ダム展示室来館者数はのべ2,600人。 奥州湖から姿を現した“石淵ダム”を見ようと天端を歩く方もいて、胆沢ダム展示室やダム天端は多くの方で賑わいました。ご来訪ありがとうございました。



利水・緊急放流ゲート室



監査廊（ダムの中）



堤体エレベータ



©2024 oshu city



天端（ダムの上）



物販コーナー



胆沢第三発電所





馬留広場会場



©2024 oshu city

同時開催のカヌージャパンカップ2025





ダム見学

胆沢ダムにお越しいただきありがとうございます

ダム見学のご案内はこちらから ▶



8/1
一関市川崎支所地域振興課のみなさん



8/6
NPO法人ひたかみ水の里のみなさん



8/9
奥州めぐみネットのみなさん



8/26
奥州市立衣里小学校のみなさん

桜の回廊の環境づくり



7月24日（木）胆沢ダム水源地域活性化協議会が「桜の回廊の環境づくり事業」の一環として、馬留広場周辺、桜の回廊、ブナの森植樹箇所の下草刈りや花壇の整備を行いました。

石淵ダム出現



6月から続く少雨の影響で貯水位の低下が継続し、奥州湖に沈んでいた石淵ダムの堤体が姿を現しました。これまでにないほどの水位低下となっていますが、水道用水及び胆沢川の流量を維持するための水量は確保しております。
限りある水資源を大事に使いましょう。







覚書締結式



7月25日（金）融雪時の自然越流の有効利用の試行に関する覚書を締結しました。胆沢ダムでは、国土交通省が推進する官民連携の新たな枠組みによる『ハイブリッドダム※』に基づき、毎年、雪解け時期に通常運用ルールで未活用のまま自然越流（放流）されていた雪解け水の一部を有効活用し、水力発電量を増やす特別な水位運用を実施し、カーボンニュートラルやダムが立地する地域への貢献に向けた取組を検討してきましたが、この度、この有効利用の試行に関して水源のある奥州市への水源地域振興について関係者と合意に至ったため、「覚書」を取り交わしました。※『ハイブリッドダム』 治水機能の強化、水力発電の増強のため、気象予測も活用し、ダムの容量等の共有化など、ダムをさらに活用する取組の事。

胆沢ダム利水協議会



8月22日（金）今年度2回目の胆沢ダム利水協議会を開催しました。6月から続く少雨の影響から貯水位が低下し、過去最低水位を更新しました。 8月20日（水）には、胆沢ダムからのかんがい用水への補給を停止し、最低水位（利水貯水率0%）を下回らないような措置を執っていますが、今年の渇水に関する胆沢ダムや利水者の対応について、これまでの経緯や今後の運用方針並びに胆沢ダムの効果について情報共有を行いました。

クマに注意！



ダム堤体を登るクマ
（撮影：令和7年8月23日）

7月頃から胆沢ダム周辺でのクマの目撃情報が増えてきました。管理支所前の国道397号やダム堤体での目撃情報もあります。
十分に注意してください！



今月の一枚「奥州の花火大会in胆沢ダム」



胆沢ダム堤体から打ち上がる花火
（上流から撮影）

編集後記

奥州湖に沈んでいた「石淵ダム」や「猿岩隧道」が姿を現しました。その姿を見ようと連日胆沢ダムの天端は賑わっています。貴重な光景ではあるけれど、早く雨が降ってほしい!!!
さて、私にできることは・・・節水を心掛けることと・・・あめあめ坊主でも作ってみようかな・・・（流）



発行：北上川ダム統合管理事務所　胆沢（いさわ）ダム管理支所



〒023-0403　岩手県奥州市胆沢若柳字横岳前山6
TEL 0197-49-2981　/　FAX 0197-49-2988
ホームページ ▶ http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/
公式Xページ ▶ @mlit_kitakato